

## 瀬戸内海地域における風水害とハザードマップ

### Storm and flood damage in the Seto Inland Sea area and hazard map

# 古田 昇 [1]

# Noboru Furuta[1]

[1] 徳島文理大・文

[1] Geography, Tokushima Bunri Univ.

近年、さまざまなハザードマップが地方自治体などで作成されるようになってきたが、これらのハザードマップに表現される情報は、その質、量ともに複雑多岐にわたっていることが多い。しかも、被災状況、避難行動が全く異なる災害についての情報が一枚の図に盛り込まれていることが多い。例えば、洪水発生時の浸水の深さや、地震発生時の揺れの強さなどである。さらに、高潮災害については、ハザードマップの指示通りに避難するとかえって危険が増大する避難路も存在する。また、ハザードマップが詳細であればあるほど、市民がその意図を正確に読み取り、被害の軽減に直結するかということかならずしもそうとはいえない。

ここでは、2004年に多発した台風による風水害など、最近、瀬戸内海周辺で発生した自然災害を例にとり、徳島県や香川県などいくつかの地域について、その被災の具体例を紹介する。そして、被害状況の集計図や、ハザードマップ、またハザードマップ作成の基盤図となるべき土地条件図といった主題図との関わりについて検討したい。さらに、災害時における特徴的な人々の避難行動やハザードマップからは見えてこない被害についても紹介したい。